

しっぷす

CITIZEN'S POWER NEWS



特集

第9期まちづくり市民会議

公募で集まった市民が関市の課題を解決するための政策を検討し、行政へ提案する「関市まちづくり市民会議（以下、市民会議）」。令和3年10月をもって第9期が終了しました。その結果をお伝えします。

1. まちづくり市民会議とは

市民会議の目的は、市民の参画と協働によるまちづくりの推進として、市民の視点から市が抱える課題を洗い出し、課題解決のための様々な事業を提案することです。第9期の委員27名（定員20名）は、10代～80代と幅広い年齢層で構成されました。今期は仮説をもとにした事業実施に重きを置き、関係者等へのアンケートやミニ事業を行ったことで、より課題やその解決策のイメージが作られ、提案内容に説得力が増しています。



2. 実践からの政策提案

第9期の部会ごとの実践と政策提案をご紹介します。

I. チーム「観光」

私たちが目指す関市のまちづくりの宣言文

私たちの目指す姿は、「関市民が関の魅力を楽しんで市外の人に自発的に伝えられる」関市です。そのために、「市民が関の魅力を市外の人に発信できていない」という課題に取り組むことにしました。

課題の原因は「市民自体が関市の魅力をあまり知らない・関

市が良いという自覚が少ない、取りに行きたいと思える情報がない、市民が発信する手段がわからない・発信の場がない」ですが、今回は特に「市民自体が関市の魅力をあまり知らない・関市が良いという自覚が少ない」に対して取り組みます。

1 取り組んだ活動

①関市民へのアンケート実施
関市民は普段どこに遊びに出かけるか、関市の魅力的な人・モノ・コトについてどれだけ知っているのか、またそれらの情報の集め方について調査しました。（回答数：61件）

②「再発見！関のいいところマッピング」の実施
市民が知っている関市の良いところをマップで可視化し、共有できる事業を実施しました。

- 設置場所・期間
1. 本町BASE
8月23日（月）～8月29日（日）
 2. わかくさ・プラザ学習情報館1階
8月24日（火）～9月5日（日）

成果

- ①アンケート結果より
 - ・幅広い年代からの回答が得られた。
 - ・情報収集源は、「WEB上から」という回答が8割以上。
 - ・行政の発信以外にも、個人の発信を見ている人が多くいた。
- ②実施事業より
 - ・幅広い年代が参加した。
 - ・市民が魅力的に感じる「関のいいところ」が可視化された。
 - ・事業を面白いと思った人が100%。
 - ・発信することに興味がある人が8割、発信スキルを学ぶ機会や交流があれば参加したい人が7割。

課題

- ・より多くの調査件数が必要。
- ・交通ルートも併せた魅力発信が必要。
- ・市民の発信の場やスキル向上の機会が必要。

